

## 令和 5 年度(2023 年度)事業報告

一般社団法人地図協会の令和 5 年4月1日から令和 6 年3月31日までの事業執行状況を報告します。

### I 地図の利用・普及および地図情報の発展に資する事業(実施事業)

#### 1. 「測量の日」関連事業

国土地理院関東地方測量部および当協会を含む関係団体で構成する、「測量の日」東京地区実行委員会が主催して「くらしと測量・地図展」が令和 5 年 6 月 7 日(水)~9 日(金)に新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催されました。当協会は、主催者団体として昨年引き続き「地図を楽しむ」をテーマに地形図・旧版地形図及び地形図販売店(会員社)の解説展示に加え、「地形図のある学校図書館の創設事業」の紹介と来場者向けに日本地図及び世界地図の無償配布を行いました。

#### 2. 「地図展」の開催

地図展は、広く国民に地図を通して国土や地域について理解と親しみを深めていただくとともに、より一層地図に親しみ、地図を利用していただくことを目的に、毎年一回全国の主要都市で開催しています。

令和5年度も一般財団法人日本地図センターを中心に当協会を含む関係7団体の「地図展推進協議会」主催で、NHK の大河ドラマの「徳川家康」木村拓哉主演の映画「織田信長」で熱い注目を集めた中京地区で、自動車、ファインセラミックス、航空宇宙等のハイテク産業の日本最大の集積地であり、三大都市圏である名古屋圏の中心「名古屋市」の歴史と現在にスポットを当て、「名古屋の魅力を確認」をテーマに開催しました。当協会は、主催団体の一員として協力しました。

会場:名古屋国際センター 4階展示室

会期:令和 5 年 9 月 15 日(金)~9 月 20 日(水)

主催:地図展推進協議会、国土地理院中部地方測量部

なお、当協会は、寺本潔玉川大学名誉教授及び内外地図株式会社と連携し、小学生親子向けのミニワークショップ、「地図で夢みる移住物語 in 2 万 5 千分の 1」を運営し、地形図の利活用法について解説しました。

#### 3. 児童生徒地図作品展の後援・表彰及び地図教育支援活動の推進

- 1) 広島県地理作品展運営委員会より、「第 62 回地図並びに地理作品展」後援名義使用について申請があり、地図協会賞と副賞を寄贈しました。
- 2) 鳥取県地域社会研究会より、「第 25 回、児童生徒地域地図発表作品展」後援名義使用について申請があり、理事長賞と副賞を寄贈しました。
- 3) 札幌市教育地図研究会より、「第 44 回札幌市児童生徒社会研究作品展」後援名義使用について申請があり、特別賞と副賞を寄贈しました。
- 4) あこが絵マップコンクール実行委員会より、「あこが絵マップコンクール 2023」後援名義使用について申請があり、理事長賞と副賞を寄贈しました。

#### 4. 一般の方々へホームページから「月刊 地図の友」の発信

国土地理院発行の基本図(1万、2.5万、5万分1地形図、20万分1地勢図、小縮尺図等)及び数値地図(電子地形図2500等、数値地図(国土基本情報)、標高データなど)の令和5年4月～令和6年3月までの新刊情報を「新刊刊行」としてまとめ、情報提供しました。

#### 5. ホームページの更新

当協会のホームページについては、月1回の情報更新の継続に加えて、内容の充実を図るため、定例の業務執行会議において継続検討しています。

#### 6. 地形図のある学校図書館の創設事業の実施

##### 【実施期間】

2023年4月～2024年3月

##### 【目的】

2022年4月、新学習指導要領が施行され、全国の高等学校では約50年ぶりに地理総合が必修修化されました。地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養うためには、小中学校からさまざまな地図に触れ親しみ、その役割や有用性について理解するなど継続的な地理教育が重要です。文部科学省では、日常生活と結び付いた地理的技能を身に付ける手段として、国土地理院発行の地形図(紙地図)の利活用等を推奨しています。昭和時代以前には、地形図が配備された学校図書館が多くあったと思います。ところが、昨年度の国土地理院の調査では、現在、ほとんどの学校図書館に地形図が備え置かれていない状況が確認され、また、高等学校の地理教科の非履修のブランクなどにより、子供たちに地形図を教えられる先生も限定されています。

一方、2007年には、国民が安心して豊かな生活を営むことができる経済社会を実現する上で、地理空間情報の高度活用を推進するため、地理空間情報活用推進基本法が制定された。同法に基づく地理空間情報活用推進基本計画では、自動運転やインフラ分野のDXを推進させ地理空間情報社会を実現するためには、地図データ等の地理空間情報を理解し活用できる人材育成等の重要性が謳われています。このような状況を鑑み本事業では、学校図書館を活用し、子供たちが我が国の基本図である「地形図」を気軽に見て、触れて、親しみながら、読み解く力を養うための学習環境を構築、もって未来を担う子供たちが、地理空間情報社会の実現に必要な基礎力を楽しみながら容易に習得できるようになり、同情報社会の早期実現に貢献することを目指しています。

##### 【概要】

首都圏を中心とした全国約70校のモデル学校図書館を対象に、モニタリング調査のための実験等を行いました(以下「パイロット事業」という。)

パイロット事業では、モデル学校図書館に対し、あらかじめ開発・製作した地形図等セット(地域の最新地形図、地域の旧版地形図、撮影年代ごとの地域の空中写真や衛星画像、これらの利活用方法を記した解説冊子等で構成されるプロトタイプ教材)を配備するとともに、学校司書向けの利活用ガイダンスも制作・提供しました。また、必要に応じモデル学校図書館に専門家を派遣し、地形図等セット等の活用方法等について助言・支援を行いました。加えて、実験の効果や改善点等を検討会等で検証した上で、次年度以降、全国普及に向けた取り組みに反映させます。

## 【成果】

### 1) 地形図に触れ合う学習環境の構築

そもそも地形図は、単体のままでは、書棚に収納するなど、書籍と同じような取扱いが難しいものです。本事業において、有識者や専門家が検討を重ね、児童・生徒の親しみやすさや学習効果を考慮した上で、政府刊行地図をパッケージ化(学校のある地域と関連のある最新の地形図、旧版地形図、空中写真、利活用ガイドンス)し、扱いやすい図書又は使いやすい教材とすることに成功しました。今まで我が国では例がない新しい取り組みとなりました。

学校図書館における、地形図に触れ合う学習環境の構築という目的が予定どおり達成できたことは、大きな成果です。

### 2) 地図を学ぶために必要な基礎力養成の場

本事業を通じ、学校図書館が、子供たちにとって、地図を学ぶために必要な基礎力養成の場(=地図の学び舎)として機能することが実証されました。一方、高校地理教育の非必修が50年近く続いたことによる学校司書や教諭らへの影響が想像以上であったことが課題となりました。

モデル校によっては社会科教諭9人が歴史公民の専門で地理の専門教諭がいないといった環境もあることが明らかとなり、歴史公民の教諭でも馴染みやすい、地図の関わり方について指導していくことの重要性を感じました。

## II 政府刊行地図等の販売に関する事業(その他事業)

### 1. 政府刊行地図等の販売

国土地理院刊行の地形図等及び数値地図の令和5年度(4月1日～3月31日まで)の販売状況は、次のとおりです。

また、新刊面数は令和5年度(4月1日～3月31日まで)で、2万5千分の1多色431面、でした(4月35面、5月35面、6月35面、7月38面、8月37面、9月36面、10月35面、11月35面、12月35面、1月34面、2月35面、3月41面)。

#### 1) 地形図等販売状況

区 分	令和5年度(A)	前年度(B)	前年度比(A/B)
1万分の1地形図	1,003枚	1,938枚	0.52
2万5千分の1地形図	161,877枚	160,415枚	1.01
5万分の1地形図	31,339枚	32,252枚	0.97
20万分の1地勢図	5,881枚	5,448枚	1.08

その他	1, 049枚	1, 002枚	1. 05
計	201, 149枚	201, 055枚	1. 00

## 2)数値地図販売状況(CD-ROM)

区 分	令和5年度(A)	前年度(B)	前年比(A/B)
2, 500(空間データ基盤)	1枚	0枚	—
25, 000(空間データ基盤)	1枚	3枚	0. 33
25, 000 (地図画像)	59枚	28枚	2. 11
50, 000 (地図画像)	18枚	28枚	0. 64
200, 000 (地図画像)	9枚	6枚	1. 50
5m メッシュ(標高)	4枚	0枚	—
10m メッシュ(火山標高)	—	—	—
50m メッシュ(標高)	—	—	—
250m メッシュ(標高)	—	5	—
25, 000(行政界・海岸線)	—	—	—
25, 000(地名・公共施設)	—	—	—
500万(総合)	2枚	0枚	—
25, 000(土地条件)	6枚	5枚	1. 20
5000(土地利用)	6枚	17枚	0. 35
計	106枚	96枚	1. 01

## 2. 「巡険の旅」の開催

地図等の普及啓蒙及び地図と実際との検証を目的として、昭和49年度(1974年)から、地図に親しむ巡険の旅を実施していましたが、昨年同様に見送りとなりました。

## 3. 定例の執行理事会等の開催

関係理事及び監事を招集して、毎月原則第3週火曜日に定例会議を開催して、事務局事務の運営を以下のとおり実施しました。

令和4年度 4月18日(火)14時～15時30分

令和5年度	6月20日(火)	第1回定例会議	Web会議
	7月18日(火)	第2回定例会議	Web会議
	8月15日(火)	第3回定例会議	見送り
	9月12日(火)	第4回定例会議	Web会議
	10月17日(火)	第5回定例会議	Web会議
	11月14日(火)	理事会及び定例会第6回定例会議	Web会議
	11月27日(月)	地図展推進協議会	
	12月19日(火)	第7回定例会議	Web会議
	1月16日(火)	第8回定例会議	Web会議
	2月20日(火)	第9回定例会議	Web会議
	3月19日(火)	第10回定例会議	Web会議
	4月16日(火)	第11回定例会議	Web会議

主な審議事項は次のとおりです。

○令和4年度 4月定例会

- ・第21回理事会資料の確認
- ・普通会员減少への対応(事業収入・賛助会員・個人会員)検討
- ・支出削減(後援金・事務委託など)検討
- ・令和5年度事業・体制(役員人事を含む)について
- ・事業収入の確保(登録方法の詳細については前野理事が調査)
- ・内外地図大貫氏の理事就任
  - 安藤監事の退任が予定されるため新監事候補を前野理事より推薦
- ・地図販売の課題について
  - 1)普及啓発
  - 2)会員増募・入会案内

○令和5年度

第1回定例会

- ・総会開催決議報告
- 総会議事録
- ・新宿西口測量の日記念イベント実施報告
- ・地図の販売についての課題対応
  - ・会員社への挨拶状新年度活動について
- ・図書館プロジェクト意見照会
  - ・会費納入依頼
  - ・地形図のある学校図書館の創設実行委員会

第2回定例会

- ・第56回地図展(名古屋)開催について
- ・地図の販売についての課題対応

- ・地形図のある学校図書館の創設実行委員会について
- ・受託事業(収入)について…会費収入減を補うため、受託事業(収入)が必要

### 第3回定例会 開催見送り

### 第4回定例会

- ・地図展名古屋開催について
  - 1)開会式～閉会式(参加者の最終確認)
  - 2)関連団体展示について(協会紹介と図書館P)
  - 3)寺本先生ワークショップ他(予行演習について報告)
  - 4)その他
- ・地図の販売についての課題対応
  - 1)会員社への情報提供などサポート活動について
    - 個人会員の獲得
    - 賛助会員の獲得
  - 2)地形図のある学校図書館の創設実行委員会
    - 進捗報告①地形図セット⇔旧版地図記号
    - ②ヒアリング実施結果
    - ③専門家支援
    - ④ガイダンスの反応⇔今後の利活用
    - ⑤令和5年助成申請について
- ・受託事業(収入)国土地理院幹部との意見交換報告

### 第5回定例会

1. 「測量の日」東京地区実行委員会事務局(関東地方測量部)会議&懇親会の件  
(12月4日～15日 15:00～17:00、17:00～)
2. 事業(収入)活動について  
個人会員や賛助会員の獲得が重要テーマ

### 第6回定例会議 理事会

### 第7回定例会議

1. 事業(収入)活動について
2. 地形図のある学校図書館の創設実行委員会について
3. 受託事業と国土地理院幹部との意見交換について
4. 価値創造計画に関する具体的な行動計画について
5. 活動予定
  - 1)社会科研究会を通じての社会科教員向け教材提供と活用支援
  - 2)図書館振興財団への来年度の助成申請について

- 3) 図書館協会への協力依頼
- 4) 学校図書館協議会へのヒアリング

#### 第8回定例会議

- 1. 事業(収入)活動について
  - 「会員リスト」と「全国の地形図販売店」をブラッシュアップして、新規会員獲得を行う
  - 受託事業や商品、有料イベントの開催などについてのアイデアについて
  - 図書館向けの地形図等パッケージ販売計画について
- ・パッケージ化の企画案
  - パッケージの販促計画
- ・賛助会員(法人会員)の勧誘について
  - 1) 地図会社
  - 2) 教育関係
- 2. 地形図のある学校図書館の創設実行委員会について
- 3. 国土地理院との関り
  - ・幹部との意見交換について
    - 基本測量に関する長期計画(案)に対する、国土地理院幹部への意見具申
    - 1) 教育分野における紙地図のニーズとその効果
    - 2) 地域コミュニティにおける地域資料(アーカイブ)としての価値
- 4. 活動予定
  - 図書館協会への挨拶訪問(1月22日の二次審査以降)
  - 図書館流通センター細川取締役
  - 国土地理院・基本測量に関する長期計画(案)に対する要望

#### 第9回定例会議

- 1. 事業(収入)活動について
- 2. 地形図のある学校図書館の創設実行委員会について
- 3. 国土地理院との関り
- 4. 活動報告
  - 図書館協会への挨拶訪問
  - 図書館流通センター細川取締役
  - 日本測量協会清水会長

#### 第10回定例会議

- 1. 令和6年度事業計画・予算案の検討 地図協会の存在意義(As is To be)
  - 1) 普通会员減少への対応(事業収入・賛助会員・個人会員)
  - 2) 支出削減(後援金・事務委託など)
- 2. 地図協会の事業計画(理事会検討議題)について
  - 1) 事業収入の確保

- 2) 図書館プロジェクトをトリガーにした戦略
  - 3) 複製頒布の今後、長期測量計画などを踏まえて
3. その他
- ◇ 地図販売の課題について
  - 1) 普及啓発
  - 2) 会員増募、入会案内

## 第 11 回定例会議

- 1. 第 23 回理事会資料の確認
  - 1) 審議事項
    - 第 1 号議案 令和5年度 事業報告(案)
    - 第 2 号議案 令和5年度 収支報告・決算報告(案)
    - 第 3 号議案 令和6年度 事業計画(案)
    - 第 4 号議案 令和6年度 収支予算(案)
    - 第 5 号議案 地形図2027対応について
  - 2) 報告事項
    - 報告事項第 1 号 理事長の職務の執行状況報告
    - 報告事項第 2 号 業務執行理事の職務の執行状況報告
- 2. 会員増(収入確保)について
  - 1) 特別会費及び普通会員会費収入
  - 2) 事業収入と賛助会員及び個人会員
  - 3) 支出削減(後援金・事務委託など)検討
- 3. 協会存続に向けた諸問題の課題化について
  - 1) 目的と使命
  - 2) 求める成果、目標値
- 4. その他の活動
  - ① 地形図のある学校図書館の創設実行委員会
  - ② 国土地理院との意見交換
  - ③ 水路協会加藤理事長との意見交換
  - ④ 日本測量協会清水会長との意見交換
  - ⑤ 図書館流通センター細川取締役との意見交換
  - ⑥ 全国図書館協議会設楽理事長との意見交換
  - ⑦ 地図情報センター進藤事務局長との意見交換

以上